

RS232C/Bluetooth コンバータ

DB-P232

ユーザースマニュアル

WP-02-230809



第2版 2023年8月



データリンク株式会社

はじめに

DB-P232（以下本機）は、RS232CポートとBluetoothを有するインターフェイスです。

本器は、DB-P232/M（マスタ側）とDB-P232/S（スレーブ側）の1組で使用します。RS232C機器間をBluetoothで無線通信します。簡単に通信パラメータの設定が可能です。

1、梱包内容

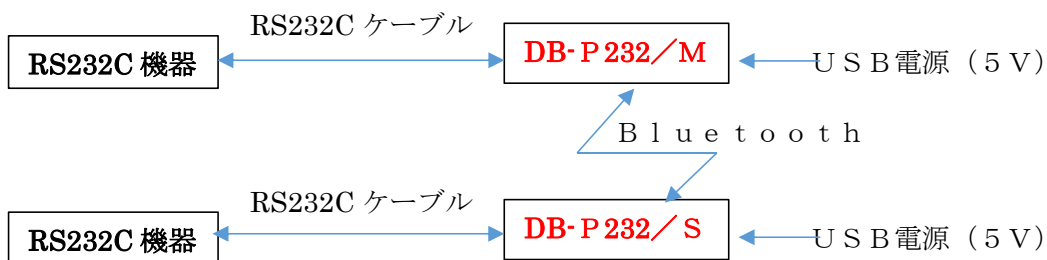
DB-P232M	1台	
DB-P232S	1台	
RS232Cケーブル	2本	（両端メス・メスのインチネジの1mクロスケーブル）
電源ケーブル	2本	（片側USB-A、片側miniB）
ユーザーズマニュアル（本書）	1部	
ACアダプタ（USB 5V出力）	は添付されていません。PSE仕様のアダプタを選択ください。	

2、特徴

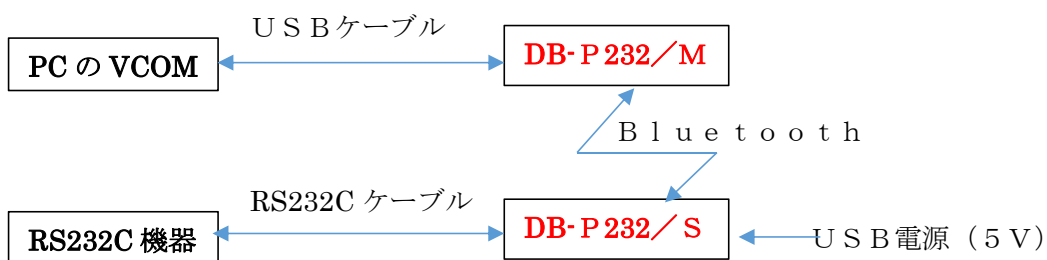
- ・2台はペアリングされた状態で出荷されます。
- ・通信距離は、障害物が無い場合、おおむね10m程度です

3、使用環境

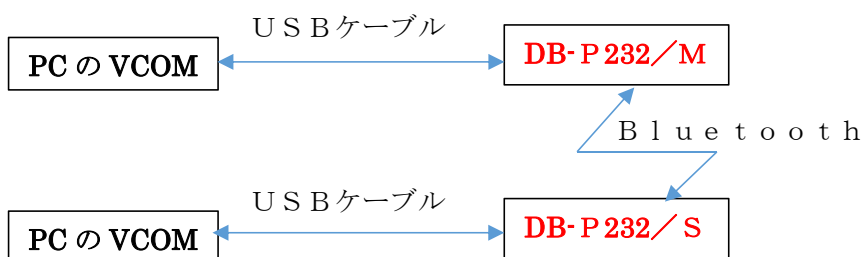
3-1) RS232C機器間で使用する場合



3-2) RS232C機器とPC間で使用する場合



3-3) PCのVCOM間で使用する場合



4、仕様

- 物理的仕様

環境温度 0～50℃
 環境湿度 結露なきこと
 形状 横：33mm 高さ：16mm 奥行き：57mm
 重量 25g
 電源 USB ACアダプタ5Vを供給
 または、VBUSからの供給
 消費電力 非通信時 60mA
 通信時 120mA

- インターフェイス

RS232C DSUB9ピン（オス）DTE配列
 Bluetooth 2.4GHz

- RS232C通信仕様

本機は10Kバイトの受信バッファを持っています。

- RS232Cのピン配列

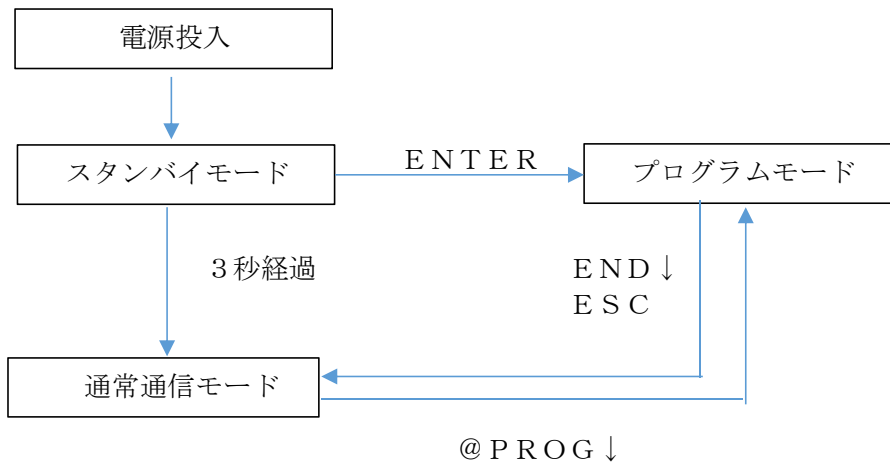
ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	NC		6	DSR	←
2	RXD	←	7	RTS	→
3	TXD	→	8	CTS	←
4	DTR	→	9	NC	
5	SG				

←本機への入力信号
 →本機からの出力信号

5、電源の投入

5-1) 状態遷移図

本機の状態遷移図を示します。



1) スタンバイモード

「状態表示」の赤LEDが約3秒間点滅します
 この間に、ENTERキーを入力するとプログラムモードへ入り、「状態表示」の赤LEDが点灯します。
 放置して3秒が経過すると通常通信モードに入ります。
 プログラムモードに入るためには、PCで端末ソフトを起動する必要があります。
 後述します。

- 2) プログラムモード
パラメータの変更が可能になります。
- 3) 通常通信モード
 - ・ペアリングが出来ていない場合、緑LEDが点滅します。
 - ・ペアリングすると、緑LEDが点灯します。

説明中、ESCはキーボードのESCキーです。
↓はENTERキーです。

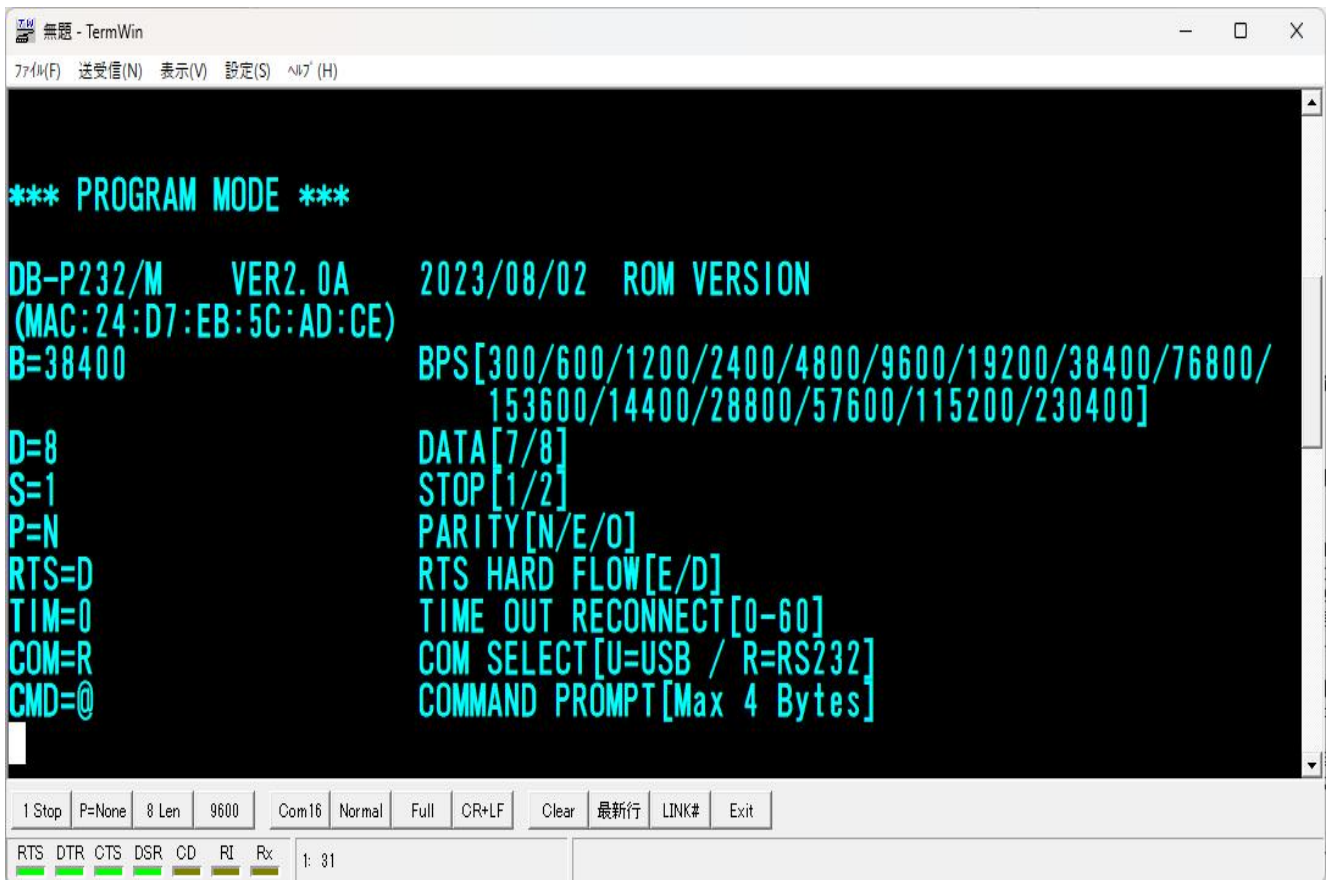
- 2) スタンバイモードからプログラムモードに入る方法
 - ・PCとDB-P232Mを付属のRS232Cケーブルで接続する
 - ・PC上でRS232C端末ソフト(TERMWIN)を立ち上げる。
このソフトは、弊社HPよりダウンロード可能です。
 - ・TERMWINの通信条件を、9600BPS/パリティなし/8ビットに設定する。プログラムモードに入るためには必ずこの値に設定する必要があります。
 - ・本機の電源を入れる。
スタンバイモード(赤LEDがフラッシングしている間)中に、PCからENTERキーを入力する。
この結果、本機はプログラムモードに入りパラメータの変更が可能になります。
赤LEDが点灯します。

- 3) コマンドによりプログラムモードに入る方法
 - ・PC(VCOM)または接続されているRS232C通信機器から命令
@PROG↓(↓はENTERキーまたはCRキー)を入力します。
この結果、赤LEDが点灯します。

この場合、ペアリングされているPB-P232Sの電源が切れている必要があります。

また、プログラムモードで設定されている通信条件とVCOMの設定が同一である必要があります。

5-2) 表示例と変更の方法



(上図は出荷時のRS232C設定値)

表示された内容の説明

- 1) BAUD RATEは、接続するRS232C機器の通信条件を指定します。
例えば、B=115200など入力します。
データ長は、7か8です。
パリティは、PE、PO、PNです。
ストップビットは、1か2です。
- 2) フロー制御は、RTS/CTSで行います。
本機のバッファメモリは10KBあります。
受信容量が5KB以上になると、フロー制御 (RTS=オフ)
受信容量が2KB以下になると、フロー制御 (RTS=オン)
- 3) TIM=0 (0~60)
Bluetoothが無通信で切断した場合、この時間間隔で再接続します。
- 4) COM=R RかUを指定します。COMポートがRS232CかUSBを指定します。
- 5) CMD=@ プログラムポートに入る命令の頭文字を指定します。
- 6) END命令でこの画面に設定された値が内部のEEPROMに書きこまれ、通信モードに入ります。
次回電源が投入された時、この設定値で動作します。
- 7) ESC (PCのキーボードの左上) を押すと、EEPROMの内容を更新せずに、通信モードに入ります。
- 8) 入力中に、ENTERキーを入れると、設定中のパラメータが表示されます。

6) ペアリング

機器の電源を投入すると、赤LEDがフラッシングし、その後、青LEDがフラッシングします。相手機器を認識すると2台は自動的にペアリングし、その結果、青LEDが点灯しっぱなしになります。

他の機器とはペアリングしません。

この時、DB-P232Mに設定されている通信条件は、自動的にDB-P232Sに送られます。よってDB-P232Sの通信パラメータを、PROGモードで設定する必要がありません。

製品保証

この製品の保証期間は、当社発送日より1カ年です。保証期間は、製品貼付のシリアルナンバーで管理しています。

保証書はございません。

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害について、当社はその責任を負わないものとします。

次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。

- (1) お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障および損傷。
- (2) ご使用上の誤り、あるいは改造、修理による故障および損傷。
- (3) 火災、地震、落雷等の災害、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- (4) 当社製品に接続する当社以外の機器に起因する故障および損傷。

2 次のような場合、有償でも修理出来ない時があります。PCB基板全損、IC全損等、故障状態により修理価格が新品価格を上回る場合。

3 製品故障の場合、出張修理は致しておりません。当社あるいは販売店への持ち込み修理となります。上記保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

4 ユーザサポートのご案内

ユーザサポートのご案内

DB-P232 に関するご質問、ご相談は、ユーザサポート課までお問い合わせ下さい。

データリンク株式会社 ユーザサポート課

TEL:04-2924-3841(代) FAX:04-2924-3791 E-mail: support@data-link.co.jp

受付時間 月曜～金曜(祝祭日は除く)

AM9:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

DB-P232 取り扱い説明書 2022年9月 第1版

製造、発売元 データリンク株式会社

〒359-1118 埼玉県所沢市喜多町 10-5

TEL04-2924-3841(代) FAX04-2924-3791